

会議資料（第2回_日野市いじめ防止対策推進条例策定委員会アンケート結果）

《回答者数 8名》

設問1 第2回_資料03 日野市いじめ防止対策推進条例（案）【条例の前文】について

※提示された案で良いという意見以外の主な意見の整理

ご意見等	事務局
<p>いじめを許さないという強い意志を感じます。そのため、社会通念上のいじめを許さない、ということを行っていると感じました。法律上のいじめ（親切に注意してあげたけれども、相手にいじめと感じられてしまった、などということもある）をイメージした上で、強い意志を示すとよいかと思いました。</p>	<p>いただいたご意見を反映（設問1-1）</p> <p>《解釈》</p> <p>学校現場の実情を反映。</p> <p>親切な注意の意図は、「互いを尊重し、助け合う心を育む」精神からきており、「互いを尊重し、助け合う心をもって」という表現を追加した場合、いじめられている子を助けようとする行動を促すことが、また相互尊重と助け合いの重要性を促せるのではないかと解釈し修文。</p> <p>なお、親切な意図による言動であっても、相手が不快に感じ、精神的な苦痛を与えるならば、それは看過されるべきではないという側面は、前提。</p> <p>（国等の）法の文言追加に関しては追加しない。</p> <p>以下、設問1-1_調査結果を参照</p>
<p>前文と基本理念が重複しているように感じます。</p> <p>・また、前文では、いじめをなくすための施策を総合的に推進することを目指していますが、前文なので大きな視点で「〇〇のようなまちをつくる」「〇〇のような社会を実現する」ような書きぶりでも良いと思います。（立川市、小金井市の条例前文参照）</p>	<p>いただいたご意見を反映（設問1-2）</p> <p>《解釈》</p> <p>「地域社会全体で連携し」という表現は、今の日野市の地域連携（第4次学校教育基本構想に繋がる）をイメージさせ、いじめ問題は学校だけでなく、地域全体で取り組むべき課題で社会という概念から地域へ落とし込んだ表現とした。</p>
<p>* 「根絶」という強い言葉を使うことで、いじめを許さないという強いメッセージを訴えることと思</p>	<p>いただいたご意見を反映（設問1-3）</p>

<p>います。しかし、いじめの定義（第２条）が「～当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているもの」であることから、「根絶」のためには他人の感情を完璧に慮ることを強いられる抑圧・息苦しさを感じます。</p> <p>いじめはなくすべきものであり、その防止に努める、との文言でよいのではないのでしょうか。</p> <p>《修文いただいた内容》</p> <p>いじめは、人間として絶対に許されない人権侵害です。いじめは、子供の心身の健全な成長及び人格の形成に重大な影響を与えるのみならず、子供の生命又は身体に重大な危険を生じさせるおそれがあります。また、いじめはどの子供にも、どの学校でも、どの地域社会でも起こり得るものであり、被害者にも加害者にもなる可能性を秘めています。</p> <p>いじめを根絶する、なくすために、すべての児童生徒、すべての日野市民が いじめは、しない、させない、許さない」という強い決意をもち、互いに協力しながら、あらゆる場で「いじめをしない、させない、許さない」ための行動を実践し、いじめの根絶・防止に努めなければなりません。</p> <p>ここに、いじめ根絶・防止に向けた基本理念を明らかにし、いじめ根絶のための施策を、総合的かつ効果的に推進するために、この条例を制定します。</p>	
--	--

《設問Ⅰ_調査結果》

都内、条例に前文を設置（１０団体）の調査結果

項目	内容
<p>《設問Ⅰ－Ⅰ》</p> <p>いじめの定義を、法等を踏まえ～としている団体（１団体）の調査結果</p>	<p>◎豊島区</p> <p>《最終行》～豊島区子どもの権利に関する条例の趣旨を踏まえ、～この条例を制定する</p> <p>《解釈》</p> <p>「いじめ防止対策推進法を踏まえ」を入れる適切性への解釈（以下２通りがある）</p> <p>１）「法を踏まえる」ことについて</p> <p>①条例の根拠法であることは自明</p> <p>②条例の独自性を弱める可能性</p> <p>③冗長の回避</p>

	<p>2) 敢えて関連性を示し、「いじめ」の定義がぶれないようにするねらいが伺える。</p> <p>《事務局まとめ》</p> <p>事務局意見では、以上の観点から、法（条例）を踏まえる案もあるが、自明等である点から「(法◎◎)を踏まえる」は記述しない。</p>
<p>《設問１－２》</p> <p>「〇〇のようなまちをつくる」</p> <p>「〇〇のような社会を実現する」</p> <p>としている団体（５団体）の調査結果</p>	<p>◎北区</p> <p>地域社会の実現を目指し</p> <p>◎立川市</p> <p>健やかに成長することができるまちの実現を目指して</p> <p>◎武蔵野市</p> <p>これらの願いが届くようなまちであることを望みます</p> <p>◎小金井市</p> <p>子どもたちが心豊かで安全・安心に生活することができるまちをつくるよう、また、人権を尊重し合う温かい人間関係を築き、夢と希望をもって健やかに育つことができる社会を実現するため</p> <p>◎西東京市</p> <p>西東京市市民憲章(平成 16 年西東京市告示第 11 号)本文にある「このまちを たがいに助けあう 優しいまちにしたい」の実現に向け</p>
<p>《設問１－３》</p> <p>条例前文、もしくは条例の中に「根絶」を引用した調査結果</p>	<p>◎条例前文 10 団体中</p> <p>「根絶」引用 3 団体 豊島区、北区、葛飾区</p> <p>◎条例文中に引用 0 団体</p> <p>《事務局まとめ》</p> <p>◎「根絶」は、力強さな印象を与え、決意を感じさせるものの、全ての市民が協力し合いながら、共にいじめを無くす地域社会を実現させていくのであれば、もう少し穏やで、誰でも親しめる表現（「根絶」を使わず）で、良いのではないか。</p>

前文新旧対照表

新	旧
<p>いじめは、人間として絶対に許されない人権侵害です。いじめは、子供の心身の健全な成長及び人格の形成に重大な影響を与えるのみならず、子供の生命又は身体に重大な危険を生じさせるおそれがあります。また、いじめはどの子供にも、どの学校でも、どの地域社会でも起こり得る可能性があります。</p> <p>いじめをなくすために、すべての児童・生徒、すべての日野市民が「いじめは、しない、させない、許さない」という強い決意をもち、互いに協力しながら、あらゆる場で「いじめをしない、させない、許さない」ための行動を実践し、互いを尊重し、助け合う心をもっていじめをなくすよう努めなければなりません。</p> <p>ここに、基本理念を明らかにし、いじめをなくす地域社会の実現を目指すため、この条例を制定します。</p>	<p>いじめは、～</p> <p>(中略)</p> <p>～また、いじめはどの子供にも、どの学校でも、どの地域社会でも起こり得るものであり、被害者にも加害者にもなる可能性があります。</p> <p>いじめを根絶するために、～</p> <p>(中略)</p> <p>～いじめの根絶に努めなければなりません。</p> <p>ここに、いじめ根絶に向けた～</p> <p>(中略) ～この条例を制定します。</p>

設問2 第2回_資料03 日野市いじめ防止対策推進条例(案)【条例の第1条から第18条まで】

※提示された案で良いという意見以外の主な意見

ご意見等	事務局
<p>■第2条 第3項 学校の定義で逐条に「保育所」を含めていますが、学校ではない「保育所」も対象とするのですか？保育所を対象とした場合に「学童クラブ」なども含めるかも検討が必要ではないでしょうか？</p> <p>■第16条 第3項 調査委員会を設置したとき、「又は」前項の規定による答申があったときは、議会に報告するものとする。とありますが、「又は」ということは、どちらか一方の報告をすればよいということでしょうか？「及び」とし、設置と答申どちらも報告すべきではないでしょうか？</p> <p>■同条 第4項 「努める」とありますが、適切な調査のためには「ねばならない」と規定しておくべきではないでしょうか？</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>■いただいたご意見から修文 逐条解説を訂正させていただきます。幼稚園を対象外とさせていただきます。条例案と逐条解説を修文します。</p> <p>(理由) 法第2条2項 この法律において「学校」とは、学校教育法(昭和二十二年法律第二十六号)第一条に規定する小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校(幼稚部を除く。)をいう。で定められているため。</p> <p>■修文無し 法の内容を引用しており、いずれかが発生した場合は、議会へ報告するとしており、両者とも報告要件と解釈しております。</p> <p>法30条 第2項及び第3項 2 前項の規定による報告を受けた地方公共団体の長は、当該報告に係る重大事態への対処又は当該重大事態と同種の事態の発生の防止のため必要があると認めるときは、附属機関を設けて調査を行う等の方法により、第二十八条第一項の規定による調査の結果について調査を行うことができる。</p> <p>3 地方公共団体の長は、前項の規定による調査を行ったときは、その結果を議会に報告しなければならない。</p> <p>■修文無し 第4項に規定する「その他の関係者」には、市管轄以外の関係機関が含まれることを考慮した表現としております。</p>

<p>■第2条の(3) 学校については、日野市学校設置条例には幼稚園がある。幼稚園を入れるのは賛成であるが、国の法律や都の条例には幼稚園は入れていないが大丈夫か。</p> <p>また、幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育、保育要領は、いじめ法制定後に教育内容やねらいがほぼ同じになったので、幼稚園を入れるのであれば、学校ではない保育園や認定こども園も入れるよいと感じます。関連して(4)に幼児も入れるとよいと思います</p> <p>■第15条は、いじめ問題対策委員会が、重大事態の調査を行うことになっていてよいと思います。法28条には、「学校の設置者」又は「学校」の下に組織を設けて調査を行うことになっていますが、都の条例と同じく学校を記載しないことに賛成です。</p> <p>■条例文とは別に、基本方針p12には、教育委員会または学校は、…その下に必要に応じて調査を行うことになっていて、齟齬を感じました。</p> <p>学校はいじめの疑いがあったときは、すぐに調査を行っていて、教育委員会に報告をしているかと思います。重大事態と判断してから組織を設けるようにすると時間がかかるので、そう捉えられないように、この表記は変えたとよいかと思います。</p> <p>また、改めて調査を行うのであれば(保護者の疑問が次々に出て不信感を抱いたような場合)「学校いじめ対策委員会」では公平性が確保できず、第三者の参加が必要になるかと思っています。それにも時間がかかるので、条例制定の趣旨とは合わないと感じました。重大事態に速やかに対応できるようにあらかじめ決めておくので、調査は、教育委員会の下に</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>■申し訳ございません。上記設問同様に、いただいたご意見から修文いたします。</p> <p>■修文無し(2問纏めて事務局回答)</p> <p>条例の下に規則を設置しており、各規則において、「所掌事項」「組織(構成委員)」「任期」等を記載する構成とさせていただいております。</p> <p>現状でも、いじめ問題対策委員会には、学校関係者が委員として参加いただいております。条例制定後も運営は同じになると想定しております。</p> <p>ご指摘のとおり、公平性(透明性)や迅速性等からのご意見も最もと理解しておりますが、いじめ問題対策委員会が開催される前に、同規則8条、9条で委員会の下部組織である専門調査委員、あるいは調査部会が調査することを想定しております。</p> <p>その上で、調査部会の調査内容について、いじめ問題対策委員会が審議する構成と捉えており、その審議には、学校関係者が参加することは必要なのではないかと想定するものです。</p>
--	---

<p>設けた組織で行うことにしておくことがよいと感じます。</p> <p>ただし書きで、不登校重大事態については、学校の下に設置した組織で調査を行うこともできる、などとして、学校いじめ対策委員会の調査で解決できるようにしておくとうよいと思いました。</p>	
<p>■第8条（保護者の責務）について</p> <p>都の条文を反映した内容となっているが、市・学校及び学校の教職員の責務と文末が異なり、保護者だけ「努めるものとする」となっている。学校としてはいじめの防止や解決には保護者の理解・協力が必要だと考えるため、保護者においても「責務を有する」とすることはできないか。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>■修文無し</p> <p>第8条に関し、保護者の責務、あるいは保護者の責務・役割として、謳っているのは、都内で26団体（保護者の責務：23団体、保護者の役割：3団体）。内、「努めるものとする」としているのが、26/26団体でございます。</p> <p>貴重なご意見として重く受け止めます。</p>
<p>■第4条 いじめの禁止を規定することには賛成です。あわせて、「自分を大切にするとともに、他の人を大切にしよう努める」ような互いの人権を尊重する趣旨の文言を追記してはどうでしょうか。（立川市の前文、杉並区の条例骨子参照）また、子どもの意見を聴いて追記するのも良いと思います。（子どもの意見の反映については杉並区の条例骨子資料参照）</p> <p>■第8条 保護者の責務は法と同じ内容と思いますが、「第一義的」「指導」という文言が少し重く感じます。（小金井の議事録参照）立川市のような表現はどうでしょうか。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>■いただいたご意見を反映</p> <p>■いただいたご意見を反映</p> <p>第8条の見出し「保護者の責務」、また、第1項の条文中「当該児童等に対し、規範意識を養うための指導その他の必要な指導を行うよう努めるものとする。」とした、後段の「その他の必要な指導」が具体的に何を指しているのかのご指摘。</p> <p>法9条第4項 家庭教育の自主性が尊重されるべきことに変更を加えるものと解してはならずとしており、家庭教育の自主性を重んじる「役割」と条文内の文言整理を実施</p>

<p>■いじめ防止等のための措置や基本施策に関する規定（立川市の 12 条以降）がないため、すべて基本方針に委ねられているように見えます。財政上の措置等は基本方針には書けないので条例に記載した方がよいと思います。</p> <p>■日野市子ども条例との整合性について確認しましたが、問題はありません。</p>	<p>■いただいた意見を反映</p> <p>※文科省_いじめの重大事態の調査に関するガイドライン（令和 6 年 8 月改訂版）第 2 節 学校の設置者における平時からの備え、並びに「いじめの防止等のための基本的な方針」（平成 25 年 10 月 11 日文科省）首長部局も含め再調査等に関わる予算措置</p> <p>■ご確認、誠にありがとうございます。</p>
<p>■第 15 条 3</p> <p>重大事態調査は学校主体の場合もあれば、教育委員会が行うこともある。そこで、「教育委員会の諮問に応じ」から「教育委員会から諮問を受けた場合」とすると実態に合うと考える。</p> <p>対策委員会は、教育委員会から諮問を受けた場合、または法第 28 条第 1 項に規定する重大事態（以下「重大事態」という。）が発生した場合には、同項に規定する組織として同項に規定する調査等（以下「法第 28 条調査」という。）を行い、その結果を教育委員会に報告等をするものとする。</p>	<p>■いただいた意見を反映</p>

設問 3 【第 2 回目配布資料】等に関するご意見

※提示された案で良いという意見以外の主な意見

ご意見等	事務局
<p>■基本方針の p11 （6）「重大事態と思われる」という表記があり、p12 の（2）には「重大事態と判断したとき」という表記があり、統一するとよいと思いました。</p> <p>■基本方針の p12 設問 2）と同様です。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>■ご指摘のとおり修文</p> <p>■設問 2）の事務局回答と同じ</p>

設問 4 その他ご意見

※ご指摘いただいた主な意見

ご意見等	事務局
	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>■誠に申し訳ございませんでした。</p>









<p>■第2回は時間がなく、資料を開くあいだに説明が進み、実際にしっかりと理解することはできない状況がありました。また、意見を出す時間もなかった。</p> <p>■せっかく様々な方にお越しいただいている会なので、最後にみさわ児童館の館長様がしていただいたような率直な意見や感想を、気兼ねなく話すことができる場にしていなければと思います。</p> <p>■今回のように協議がわずかな時間であると、ある程度の専門知識がある人でないと発言することは難しく、事務局の提案と一部の委員の意見のみで条文が決まっていくということが予見されます。 ぜひ多くの方のご意見等を踏まえた上で検討が進むよう、運営の仕方をご検討くださいますようお願いいたします。</p> <p>■条文を固めてしまう前に、児童生徒（可能であれば教職員、保護者も）の意見を聴き、必要なものは条例に反映できるとよいと思います。（意見の反映については杉並区の条例骨子資料、日野市子どもオンブズパーソン制度に関するQA 資料参照）出来上がった条例の文案でパブコメしても、子どもの声を活かすことが難しい気がします。</p> <p>■いじめの把握から対処まで、子どもなんでも相談と子どもオンブズが関わる場合があります。様々な組織体ができるので、事務方（子家セン、福祉政策課、教育指導課）で、いじめ案件が子ども何でも相談に入った場合のフローとこれまで扱った具体的な事例について共有できる場が持てるとよいです。（フロー図子どもオンブズパーソン制度参照）</p>	<p>第2回は、かなりの量の骨子案をお示し、事務局説明で会議を終えてしまいました。</p> <p>誠に申し訳ございません。</p> <p>第3回は、第2回各項目のご意見を、本資料を使いながら、委員皆様と議論を重ねたいと考えます。</p> <p>よろしくお願い申し上げます。</p> <p>■事務局検討事項</p> <p>■事務局検討事項</p>
--	--

<p>■日野市いじめ問題調査委員会の事務局担当部署ですが、可能であれば、大きな事案があった八王子市、町田市に実情を聞き取っていたけるとよいと思います。</p>	<p>■事務局検討事項</p>
---	-----------------

《今後のスケジュール》

第Ⅰ回 検討委員会事務局資料の改定版

※「子供たちの声」を反映

	2024 下期	2025 上期	2025 下期
日野市いじめ防止対策推進条例検討委員会設置			
日野市いじめ防止対策推進条例検討委員会開催			
子供たちの声			
日野市いじめ防止対策推進条例 パブリックコメント			 
日野市いじめ防止対策推進条例 制定			